

潮風

第26号

令和4年度下期

放生津地域振興会

発行責任者 宮島 伊佐夫

越の海

所在地は新湊中学校に隣接して 現在団員は、24名地域の安全・安心、大切な人、町の生命財産を守る思いで活動しています。

消防団の活動について紹介します。

緊急時、射水消防本部から火災・災害・行方不明者捜索等の出動要請があれば現地向かい消防署員と連携を取りながら消火救助にあたります。また、各警報が発令した場合ポンプ車で巡回し皆様に注意を促して危険箇所がないか調査確認に向かいます。

年間を通しての活動は、消防団出初式、火災が発生しやすい春と秋の火災予防週間中は、広報と火災訓練に参加。市の操法大会では、約2週間大会に向けて正確な操作方法と速さを重視し練習しています。年末警戒、年末特別警戒の実施。

地域行事では、放生津八幡宮左義長、文化財防火訓練、海王丸パーク花火大会に出動。

放生津校下地域で取り組んでいる自主防災協議会にも参加。平時は、毎月1日と15日は無火災デー、日曜日は、団員が交代でポンプ車で鐘を鳴らし巡回を行っています。ポンプ車の鐘を聞いたら 今一度火の元の確認を行ってください。

最近各地で予想を超える災害が発生しています。まずは、自分の命は自分で守る、日頃から家族、近隣の方々と避難場所、安否確認の連絡方法などを話し合う事が大切です。



消防団放生津分団 分団長 伊藤 誠勝

地域を守る「共助」のしくみ

毎年各地で発生する自然災害、今年もトルコ・シリアの大地震で4万6千人を超える犠牲者が発生しました。

そこで当部では、このような災害時の安否確認のしくみとして「黄色いハンカチ作戦」の訓練を2回行い、いずれも住民参加率は70%を超え、防災意識への関心度が高まったと思われます。

また2回目の訓練では、放生津コミュニティセンターに10月23日(日)対策本部を設置し、校下の4エリアから集めた被害情報を共有し、住民による応急救護と災害時に支援を必要とする方への「共助」に取り組みました。

さらに3回目の訓練では、各町内の代表、消防団員、防災士等を対象に、学校等に避難所が開設される事を想定して、「避難指示から行政の支援が来るまでに住民のできる事」について研修会を開き、避難所開設時のリーダー育成を図りました。

これからも、いざという時に備え、より実践的な避難訓練等を行い、地域の安全安心を守る「共助」のしくみづくりが必要になります。

連合自治会安全安心部 富田 光男



10月23日(日)対策本部の様子



令和5年3月5日(日)防災研修会の様子 (段ボールベット、簡易衝立の組み立て訓練) 各自治会長・防災士・消防団・防災委員等、43名参加

民生委員・主任児童委員の改選

(任期 令和4年12月1日～令和7年11月30日)

令和4年11月末で民生委員・主任児童委員の皆さんが改選になりました。

放生津からは、新たに16名の皆さんが委員として委嘱を受けられました。

委員の皆さんには、今後3年の任期中、地域住民の皆さんが安心して暮らせるように相談や助言、福祉サービスについての情報提供などの援助をして頂きます。地域の皆さんは、気軽にお問い合わせください。

放生津校下			
氏名	担当区域		
1 中川 純子	越の潟町		
2 栗原真寿美	神保寺		
3 銭谷 秀明	荒屋東部		
4 南島美枝子	荒屋本町		
5 二口 憲夫	東町東部1区・倉屋敷		
6 大濱 晴彦	東町東部2区		
7 鶴 廣明	天神町・四十物町・東町西部		
8 野村 千春	山王町・中町		
9 殿村 春美	獅子絵田		
10 杉谷 慶子	紺屋町・立町・菊屋町・西立町		
11 作道 廣司	南立町・法土寺		
12 帯刀 毅	二の丸町		
13 長田 恵子	二の丸本町		
14 寺井 淳子	江柱(南側)		
15 中山千恵子	江柱(北側)		
主任児童委員	塩谷 治幸(放生津校区)		

放生津地域振興会

敬老会

おめでとう ございます

対象者(75歳以上) 昭和22年9月15日以前に生まれた方 1,001名の内 ●米寿 50名 ●白寿 2名

令和4年9月19日(月)敬老の日に予定しておりましたが、今年は、大型台風14号が接近していた為、安全第一に考えて、残念ながら中止に致しました。楽しみにしていらっしゃる方々には、大変申し訳なく思っております。

米寿の方々には県知事より白寿の方々には地域振興会よりお祝い状を、対象者の皆様全員に、地域振興会より記念品を用意して各自治会長より手渡して頂きました。



特集 小学校の「あり方」を考える

放生津校下小学校在り方検討協議会
会長 宮島 伊佐夫

放生津地域振興会では、昨年2月に、放生津校下連合自治会、小学校PTA、保育園保護者会、また地元有識者の方々などで構成する「放生津校下小学校在り方検討協議会」を立ち上げ、小学校の統合に係る、子ども達の健やかな教育環境の確保と、地域社会発展についての協議を重ねてきました。

その結果「協議会」としては、未来の子供たちの為に「統

合」は致し方ないであろうという結論に至りました。

しかしながら当会は、「統合」問題と「街づくり」は、表裏一体だと考えており、「協議会」の議論の中で出て来た意見を取りまとめ、今後の施策に反映させて頂けるよう「要望・提案書」を作成し、令和5年2月21日付けにて、市長、教育長、市議会議長の三氏の方に提出してきました。

令和4年度 放生津校区社会福祉協議会だより

●10月15日(土)「ふれあいランチ会」

【対象者】昭和22年4月1日以前に生まれた方
(在宅一人暮らしで75歳以上の方)

毎年恒例の「ふれあいランチ会」ですが、昨年と同様に新型コロナウイルス感染予防の為、残念ながら中止せざるを得ない状況となりました。

しかし、楽しみにしていらっしゃる方が、大勢おられるので民生児童委員の方に協力して頂き、希望者の方にお弁当を配布していただきました。



●11月27日(日)「一日研修」

参加者20名

- ・黒部市指定有形文化財建造物「松桜閣」
- ・道の駅「KOKO 黒部」
- ・なめりかわ「ほたるいかミュージアム」

初代富山県知事の国重正文が住居として建築した松桜閣を見学してきました。庭園も立派で京都の銀閣寺に似た造りが、非日常的な空間を感じる貴重な時間となりました。

途中で、道の駅「KOKO 黒部」に寄り、最後に、なめりかわ「ほたるいかミュージアム」で、ほたるいか発光ショーを鑑賞して帰路に着きました。



地域支え合いネットワーク事業について



●10月13日(木) ミニ講座「爆笑劇団」 “悪徳商法に気をつけろ!”



●12月15日(木) ミニ講座「クリスマス会」



●11月26日(土) 認知症講座



生涯学習 センター外学習

国宝高岡山瑞龍寺& 若鶴酒造見学

9月12日(月)

瑞龍寺では、地元の観光ボランティアさんに細かく説明をして頂き、奥深い歴史や寺院の構造等の変遷感慨深い話に引き込まれました。

その後、(株)若鶴酒造に移動をし、歴史が刻まれた北陸でただ一つのウイスキー蒸留所を案内の方に説明して頂き、普段入る事のない個所まで見学させて頂きました。



若鶴酒造にて

100年の歴史を刻む
由緒ある酒蔵で
説明を聞く



高岡銅器の技術から誕生!!
「世界初铸造性ポットスチル」

みんなの生涯学習・学級講座

生涯学習事業

●10月8日(土) 「ふるさと歴史講座 第2弾」



射水市新湊博物館 主査 学芸員 松山充宏氏の解説で放生津の歴史ゆかりの地を散策しました。



●10月17日(月) 「共同制作“かざぐるま”」



●11月29日(火) 「料理教室」



(共催/放生津地区 食生活改善推進協議会)



●12月26日(月) 「ミニ門松作り」



高齢者学級

●11月7日(月)・14日(月) 「はじめてのスマホ決済」



青少年学級

●12月10日(土) 「クリスマスケーキ作り」



(共催/放生津母親クラブ)

女性学級

●10月15日(土)・22日(土) 「編み物・押し絵教室」



●令和5年1月28日(土) 「健康フラダンス体験」



放生津の 曳山御蔵

南立町



南立町 曳山格納庫

- ① 建設年月 平成18年11月11日(竣工)
- ② 建設金額 2,680万円
- ③ 総世帯数 65世帯

これまでの曳山格納庫が50年以上(1949年昭和24年)経過し老朽化した為、同自治会の全65世帯が5年間費用を積み立て、市の補助金も受けて着工する事となりました。

格納庫は、現在の放生津コミュニティセンター南側の敷地に土蔵造りの曳山蔵として完成しました。

竣工式には、当時の分家市長をはじめ関係者約200人が出席し、放生津八幡宮大伴宮司による神事後、法被姿の若衆が曳山を格納庫に入ると出席者からはイヤサーの歓声と拍手が沸き起り、若衆が曳山囃子を披露し格納庫の完成を祝いました。

今でもその当時の強い熱意の気持ちが住民に伝わっており、今後は、子供達が曳山を守っていく心を育て、地域の祝事行事に出来る限り我が町の曳山を披露し、たくさんの方々に見てもらい楽しんでほしいと思っています。



広報潮風では毎回放生津地区の「曳山御蔵」の紹介をしています。次回の曳山御蔵は、中町です。

11月3日(木) 文化祭

3年ぶりに開催された「文化祭」は、時間の短縮や、皆さんの理解ある協力のお陰で、滞りなく終えることが出来ました。

住民の方々の生涯学習に対してのモチベーションも下がり気味だった事が一番の気掛かりでした。しかし、当日はたくさんの地域の方々に参加して頂き、にぎやかな一日を楽しんでいただく事が出来ました。



編集後記

児童の減少に伴い、射水市の教育委員会より小学校の統合に関する問題提起がされ一年余にわたって「放生津校下小学校在り方検討協議会」で検討がなされた結果、統合はやむなしとの結論に至りました。小学校の次には八幡保育園と放生津保育園の統合問題が浮上してきています。八幡保育園では新年度の入園予定者が一名で園児数は合わせて10名だそうです。近年中学生以下の子供が0の自治会も増えてきています。このままでは学校の統合どころか、地域そのものが消滅してしまう事になりかねません。少子化の要因としては、教育にお金がかかりすぎる・核家族世帯の増加・未婚化・晩婚化が進んでいる等様々な問題があげられています。このような状況になることはずっと昔から予想されてきたことですが国の政策として重要視されてこなかった結果です。ようやく最近になって岸田首相の「異次元の少子化対策」が重要政策として取り上げられていますが、中身は特に目新しいものではなくどこが異次元なのかでしょうか。子供手当の拡充も大事ですが、まずは子供を作れる環境を整える事が最も重要ではないかと思えます。射水市の中でも最も少子高齢化が進んでいる地域として、学校の統合がどのような形で進められるのか。また廃校になった跡地は地域の活性化のためにどのように活用されるのかについて私たちが常に関心を持ち続けていくことが大事ではないでしょうか。

(H・M)

